

# 平成30年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」湊中学校区実践計画書

事務局 湊中学校（教頭 高橋 健）

## 1 主題（5年次）

『確かな学力と生活力、豊かな心を育むための小・中連携の在り方』

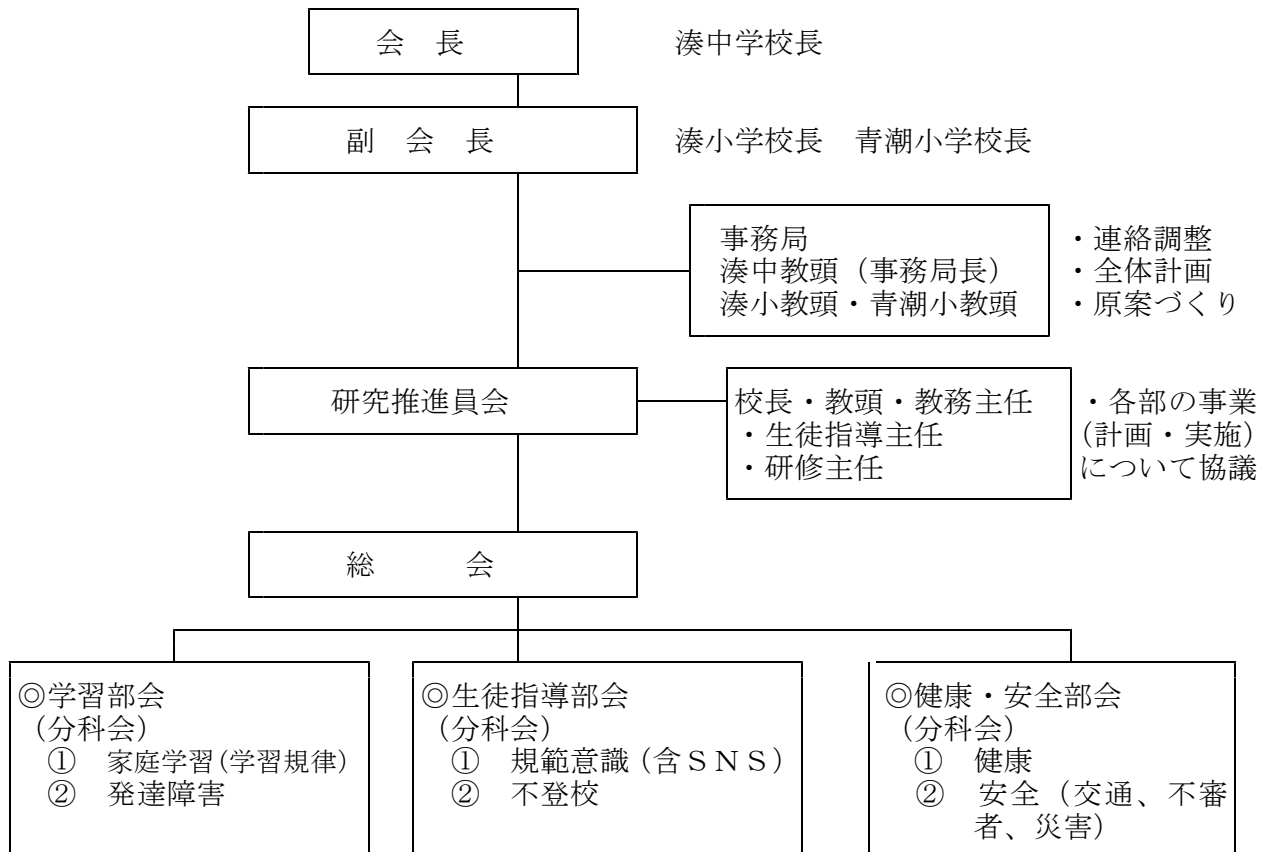
## 2 主題設定の理由

湊中学校区では長年、生活力（基本的な生活習慣や学習習慣）がなかなか身に付かないことが、確かな学力の定着にも大きな影響を与えていることが教育課題であった。それに加え、最近では少子化や携帯電話などに見られる社会的背景から、子どもたちの集団生活体験が少なくなり、人間関係がとても希薄になってきている。地域や家庭の教育力の低下に伴い、それがそのまま学校生活での生活力や学力に顕著な影響を及ぼすようになってきた。

ここ数年、他校間とのトラブルや服装・頭髪等の乱れ等、極端な逸脱行為や問題行動はほとんど無くなり、表面上は落ち着いてきている。しかしその一方で、集団不適応や学習不適応に起因する逃避・逸脱傾向の増加、規範意識の低下などが問題となってきている。その結果、生徒指導上の問題として、不登校や不登校傾向の生徒への対応が大きな比重を占めるようになってきた。また、生徒や家庭の抱えている問題も多様化しており、学校も様々な対応を迫られるようになってきている。

湊中学校区ではこれまでも、小学校6年生が不安なく希望をもって中学校へ入学し生活できるように連携を進めてきたが、事前に準備した資料を元に情報交換することとどまり、本音で語り合う時間を十分に確保することができなかった。そこで、限られた時間を最大限に活用して、小・中学校間の抱える様々な課題や現状について忌憚なく話し合う環境を整え小中相互に指導に生かすことが、子どもたちの心・技・体を鍛え、伸ばすことにつながるものと考え、上記の研究主題を設定した。

## 3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



## 4 中学校区の重点指導項目

湊中学校区 重点指導項目

- 気持ちのよい返事や挨拶ができる。
- 話をしっかり聞きとることができる。
- 身の回りの整頓や清掃ができる。
- 家庭学習ができる。